佐渡市立金井中学校　令和３年６月30日　No. ３

金井中だより

〒952-1208　新潟県佐渡市金井新保乙40番地　TEL 0259-63-4107
E-mail　kanai-js@sado.ed.jp　http://kanai-js.sado.ed.jp/

紫陽花（あじさい）の咲く学校

校 長　香 遠　正 浩

金井中学校は「紫陽花（あじさい）の咲く学校」を合い言葉にしています。

あ　あいさつの励行

生活委員の生徒が毎朝校門に立ってあいさつ運動をしてくれています。あいさつは礼儀であり、良好な人間関係を保つためにも率先してできるとよいです。

じ　時間の厳守

全職員が授業の開始・終了時刻を守り、下校指導も徹底しています。今年度からノーチャイムですが、生徒は時間を意識した学校生活を送っています。

さ　サービス（奉仕）の心

６月１日には体育大会参加者以外の全校生徒が小学生と一緒に植栽活動をしました。

い　いじめの防止

新潟県では「いじめをしない、許さない、命を大切にする意識の醸成」を学校教育の重点として掲げています。

当校では未然防止の教育に力を入れています。今月はスクールロイヤーによる「いじめ予防教室」を開催しましたが、今後もＰＴＡ育成部主催「情報モラル講演会」、生徒会による「いじめ見逃しゼロスクール集会」、金井地区青少年健全育成協議会の「家庭教育講演会」を計画してます。ご都合が付きましたらご参加ください。

いじめに関しては「いじめ防止対策推進法」や「新潟県いじめ等の対策に関する条例」（令和２年12月制定）に定められています。そこには学校の責務だけでなく、保護者の責務として、我が子がいじめを行うことがないよう規範意識を養うための教育を行うよう明記されています。また、インターネットやＳＮＳを利用している生徒も多いと思いますが、生徒と同様、保護者もインターネットを通じて送信される情報がどのようなもので、どんな特徴があるのかを理解することが求められています。

お子さんをいじめの被害者にも、加害者にもさせないために、家庭ですべきこと、できることはしてください。学校生活の様子は学級・学年だよりでお伝えしていますが、気になることがありましたら、学校にお知らせください。学校と家庭、地域が一丸となり、いじめをしない、許さない、見逃さない意識を高めていきましょう。

スクールロイヤーによる
「いじめ予防教室」

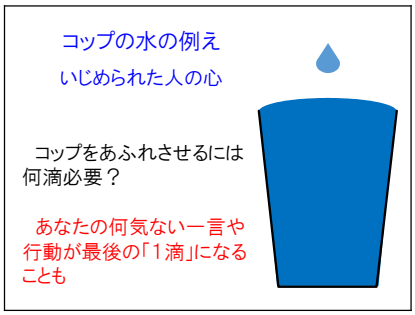
６月８日、佐渡かんぞう法律事務所弁護士の傳田真梨絵様をお招きし、全校生徒を対象に以下の５点についてご講話をいただきました。

１　いじめの定義

簡単に言うと、相手が「嫌だ」と思ったら「いじめ」になる。

２　許されるいじめはあるか？

許されるいじめは一切ない。いじめられても仕方がない子は一人もいない。「場合によってはいじめも許される」というのは、いじめる側の言い訳でしかない。



３　いじめをしたらどうなるのか？

裁判所の判決例（不法行為に基づく損害賠償責任）

４　インターネット上、ＳＮＳ上の問題点

顔が見えないから何でも書ける危険性。面と向かって言えないことは書かない。

５　いじめを止めるには

あなたの一言で「コップの水」を減らすことができる。相手の立場で考えること。

人の心をコップにたとえ「何気ないその一言が最後の一滴になるかもしれない」というところが一番印象に残った。外から見ただけではその人のコップの大きさも、今入っている水の量も分からない。自分では何気ない一言でも、相手が深く傷つくことがあるかもしれない。だから、いつもと少し違ったら話を聞いたりすることが大切なのだなと思った。とにかく、いじめは絶対にしてはいけない。
自分がその日にしたことを振り返る時間をとろうかなと思った。　（１年　Ｔさん）

今日の講演を聞き、改めていじめはしていけないことだと思いました。自分はしているつもりはなくても相手が嫌だと思ったらそれはいじめになること、許されるいじめはないということなど沢山のことが分かりました。相手の立場になって物事を考えることが大切と知って、これからはもっと相手のことを気にしながら行動していきたいと思いました。いじめをしている人に「やめよう」と言うことは難しくても、いじめを受けている人がいたら支えてあげられような人になりたいです。　（２年　Ｈさん）

いじめは本当にしてはいけないことだと改めて思った。いじめと感じる言葉や行為は、人それぞれ違う。だからこそ、自分の言動にこれからも十分注意をしていきたい。
それから、「いじめではないか？」と思う場面に自分がいた時、その場で言うことが難しくても、先生に相談をしたり、声をかけたりして何かできることをしたい。
ＳＮＳの使い方も注意したい。他の人が嫌な気持ちになるような言葉は絶対に書かない。適切な使い方をしていきたい。　（３年　Ｓさん）

感想にもあるように、「自分にそのつもりがなくても、相手が嫌だと思ったらいじめ」です。しかし、頭では分かっていても、実生活ではそれを素直に認められない、あるいは認めたくないという場合があるようです。例えば、Ａさんが「Ｂさんに嫌なことを言われた」と言っているが、Ｂさんは「そのようなつもりで言ったのではないのに…」と困っている場合です。このような場合、同じ失敗を繰り返さないために、Ｂさんの言い分も聞いた上で、どうすればよかったかを問い、よりよい人間関係の在り方を考えさせます。

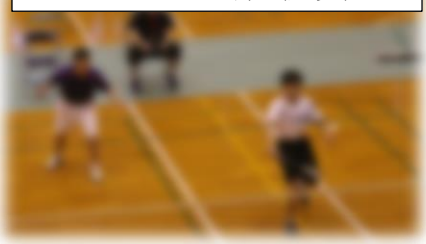
佐渡市中学校体育大会

今年の佐渡市大会は、６月１日（火）～３日（木）までの期間に、競技種目ごとに１日または２日の日程で実施され、野球部、ソフトテニス部（男女）、バドミントン部（男女）、バスケットボール部（男子）、バレーボール部（男女）が下越地区大会出場を目指して臨みました。

野球部

ソフトテニス部（男女）

バドミントン部（男女）



バスケットボール部（男子）

バレーボール部（女子）

バレーボール部（男子）

佐渡市内大会の結果、以下の競技で入賞しました。

【　バドミントン部　】
- 女子シングルス　優勝　菊地彩花
- 女子ダブルス　優勝　菊地未優・渡部　雛　組
  - ２位　北見結愛・渡邉花観　組
- 男子シングルス　５位　谷口唯斗
- 男子ダブルス　３位　金子　陽・三浦真裕　組
  - ５位　本間海翔・中静悠介　組

【　バレーボール部　】
- 男子：優勝
- 女子：３位

ＰＴＡ奉仕作業

ＰＴＡ環境保健部が中心となって、第１回奉仕作業を６月５日に行いました。

奉仕作業には、保護者と生徒、職員を含めて約２３０名が参加し、グラウンド内外、中庭テニスコート周辺の除草作業を行うことができました。今回も保護者、地域の方々から草刈り機や軽トラックを持参いただいたり、刈り取った草を処分するためにトラックを出していただいたりしました。ありがとうございました。また佐渡市環境対策課からゴミ袋の提供と、刈り取った草の運搬処分を行っていただきました。ご協力に感謝申し上げます。

ハートフル植栽作業

６月１日は市内大会１日目でしたが、試合のない全校生徒で地域の植栽活動に参加しました。この活動には、金井地区の「金井生き活き塾」をはじめ各種団体、金井小学校全校児童が参加しました。さらに佐渡総合高校も花苗の育成に協力してくれるなど、地域全体で取り組んでいる活動です。

当日は、小学生や地域の方々と一緒に小学校の校庭や商店街、花時計やその周辺の花壇に分かれて活動を行いました。中学３年生が小学１、２年生にやり方や植える場所をやさしく教えながら作業したり花苗で地域を応援するメッセージを作ったりと、心温まる姿や様子がたくさん見られました。

～～～～～～～～～～～～～地区大会での活躍の記録～～～～～～～～～～～

〇下越地区中学校陸上競技大会（6/16～17）

・女子砲丸投　２位：土屋夏海　　・男子 110ｍＨ　４位：本田悠惺
・男子三段跳　４位：本田悠惺　　・女子 200ｍ　５位：金子優生
・女子 100ｍ　７位：金子優生

〇下越地区中学校水泳大会（6/21～22）

・200ｍ自由形　４位：猪股勇穂　　・100ｍ平泳ぎ　４位：猪股勇穂
・200ｍ背泳ぎ　４位：猪股瑞季　　・200ｍ自由形　５位：平田雫龍
・200ｍ個人メドレー５位：平田雫龍

〇下越地区中学校バドミントン大会（6/25～26）

・団体戦　男子３位　女子３位
・個人戦　男子ダブルス　　５位：金子　陽・三浦真裕　組
　　女子シングルス　２位：菊地彩花
　　女子ダブルス　　５位：北見結愛・渡邉花観　組、菊地未優・渡部　雛　組

〇下越地区中学校バレーボール大会（6/25～26）

・男子　優勝

佐渡市大会で佐和田中学校に勝った日に「下越地区も優勝するぞ」という想いがありました。市内大会後、これまで課題であったレシーブの強化を主に練習で取り組みました。下越大会では、相手チームのエースのスパイクをレシーブする場面が多くあり、練習の成果を発揮できました。そして、前から練習していたコンビバレーの速い攻撃ができるようになりました。

県大会でも上位に残り、北信越大会に出場できるように頑張ります。これからも応援をよろしくお願いします。

男子バレーボール部主将　坂下　新